

緊急消防援助隊

地震発生後、消防庁から緊急消防援助隊の派遣要請の有無について問い合わせを受けたが、14時17分に県代表消防機関（東部消防）から「西部消防局から自力で対応可能であるとの連絡を受けたので、緊急消防援助隊の要請は行わない。」との回答を得たため、その旨消防庁に報告した。

また、広島県及び広島市のヘリコプターに「大規模特殊災害における広域航空消防応援実施要綱」に基づく応援を要請し、神戸市ヘリコプターからも自主的に出動した旨の連絡を受け、それぞれから次のとおり支援を受けた。

(1) 神戸市ヘリコプター

支援内容：県西部地区の情報収集

活動状況：

- 14：00 出動
- 15：40 淀江町、大山町上空偵察開始
- 16：56 大山三鉢峰ユートピア小屋付近要救助者捜索
- 16：59 検索により要救助者なしを確認
- 17：34 帰投連絡
- 18：20 神戸市帰還

(2) 広島市ヘリコプター

支援内容：県西部地区の情報収集

活動状況：

- 14：10 出動
- 15：42 西伯町より上空偵察開始
- 17：37 帰投連絡
- 18：20 広島市帰還

(3) 鳥根県ヘリコプター

支援内容：

県西部地区及び鳥根県東部地区の情報収集及び消防庁へのヘリテレ映像の配信

広域緊急援助隊の派遣

地震発生当日は、偶然、鳥取市において中国管区広域緊急援助隊の訓練が行われていた。

地震発生を受け、岡山県警察ヘリコプター（わしゅう）が鳥取空港を離陸し、ヘリテレにより県内主要幹線道路をはじめ県内各地域の映像を県警察特別災害警備本部、警察庁等へ送信した。しかし、当時は県災害対策本部とはヘリテレ情報を共有する仕組みがないなど課題があり、その後改善に向けた取り組みが行われた。

また、14時30分頃には、広島県警察ヘリコプター（みやじま1号）が、地震による大山登山道の崩落により孤立していた登山者をホイストでつり上げて救助し、大山山麓まで無事救助した。

(1) 派遣期間 10月6日～15日

(2) 支援人員 延べ417名



航空応援のために集結した消防防災ヘリコプター



西部地区に派遣された中国管区広域緊急援助隊